

拓也&尚宏、両山口の揃い踏み／割って入ったオーリンゲン帰りの茅野／埼玉の城址公園には忍者がいたのか？田代苦戦／

山ガール参戦！

夏を思わせる暑い1日となった9月16日(日)、新潟の全日本トレイルOの前哨戦とも言える JOA 公認トレイルO 岩槻大会が開催されました。

この大会は全日本トレイルOの前にたった一つ残された公認大会であり、全日本のEクラス出場権を取るための最後のチャンスでした。また、全日本トレイルOのコースプランナーがこの大会と同じ木村治雄であることから、木村のプランナーとしての兆候をさぐり、全日本対策としても重要な大会でした。

南フランスの世界選手権から帰り、休む間もなく木村は岩槻城址に休日を全て捧げてコースを組み、また小生も公園や公民館、埼玉県あるいは JOA との渉外に奔走し、漸く開催にこぎつけたこの大会も、結果を見れば新しいE権獲得者もあり、山口拓也の安定した実力も見えた面白い大会でした。

さらにはNクラスに山ガールの参戦や、障害者スポーツセンターでの体験会経験者の参加もあって、大いに楽しんでいただきました。やはりいろいろな所でマメに大会や体験会を開催する事が最も大事な広報活動であり、普及活動ではないかと思いました。

大会を振り返って

夏をも思わせる暑い1日。まずは山口拓也の満点優勝は、流石世界選手権代表の貫禄を見せたものと言えます。最近の山口は国内戦においては満点を狙って満点を取る事が連続していて、気力の充実が見えます。

同じく世界選手権代表の大久保も4位とその実力の安定度を示しました。

「惜しい、本当に惜しい」と言えるのは、2位の茅野です。唯一ミスの12番は大きく離れておいてある左端のAフラッグを見落としたと思われ、正解フラッグはわかっていたにもかかわらず…のうっかりミスでした。タイム・コントロールの秒数では優勝した山口

より9秒少ないので、これが正解していたら優勝でした。

しかし勝負にタラレバは有りません。これが勝負です。

毎年オーリンゲンでのトレイルOに参戦してきた経験が生きてきたと言えるのかもしれない。

3位の山口尚宏も、漸く復活してきたかという感じです。若い拓也に負けず、両山口の活躍に今後も期待しましょう。

吾妻・藤島E権獲得おめでとう

大久保と同点同タイムで4位に並んだ吾妻は公認大会上位入賞は初めてで、本人もびっくりの好成績です。これを機会に上位入賞の常連になるよう期待しましょう。

藤島も漸くE権を獲得してほっとしているでしょう。特に彼は新潟の全日本トレイルOの運営が控えていましたので、E権獲得は本人のやる気にプラスになったことでしょう。

田代は苦戦の24位

ところで、田代の不調はどうしたことでしょうか？世界選手権大会でのマネジャー疲れが出たのか、或いは岩槻城址に棲む忍者にだまされたか、24位と大きく崩れました。木村治雄がプラ

ンナーであることが、田代のメンタル面に強く作用して考えすぎたミスが多かったのでしょうか？昨年同様、世界選手権代表選考でのランキングポイントに大きく影響してくるので、今後の巻き返しに期待しましょう。

より多くの人にトレイルOを

今回はNクラスに山ガールのお2人や、リハビリセンターの方などの参加もあり嬉しかったです。もっと多くの方にトレイルOをやって戴くよう努力しなければいけないでしょう

Aクラス上位成績 (数字は得点・秒数)

1	山口拓也	浜松 OLC	19	30
2	茅野耕治	ワンダラーズ	18	21
3	山口尚宏	入間市 OLC	17	21
4	我妻 光	東京都	17	36
4	大久保裕介	ES 関東クラブ	17	36
6	藤島由宇	三条 OC	17	42
7	佐藤清一	入間市 OLC	17	62
8	鈴木規弘	多摩 OL	16	17
9	小泉辰喜	東京 OLクラブ	16	25
10	田中 徹	京葉 OLクラブ	16	31

(田中 博)



表彰式の様子。左から茅野耕治、山口拓也、山口尚宏。